

## 令和5年度第2回岡崎市放課後児童クラブ支援員研修会レポート

【日時】 2023年10月11日(水)9時30分～10時30分

【会場】 岡崎市役所福祉会館6階大ホール

【内容】 防災減災講座

【講師】 岡崎市防災課

【クラブ】( たけのこクラブ )

【名前】( 岩井 里真 )

本日の研修で心にのこったことや気づいたことや学んだこと、今後の実践に活かしていきたいことなど、感想もふくめてお書きください(自由記述)。

6月にあった大雨による、六斗目川越水で私たちのクラブがある地域も大きな被害を受けました。実際に目の前でその一部始終を見ていましたが、一瞬の出来事でした。いつもより水量が多い雨が降っており子ども達のお迎えの時間に丁度大雨が予想され、対策をしなければならないと考えているところでした。

12時過ぎ頃、目の前の小川の水量が堤防ギリギリの所まで来ていることに気づきましたが、以前にも水量が増し氾濫寸前の時がありましたが何もなかった為その時点ではそれほど警戒していませんでした。しかし13時頃から様子は変わり、目の前の道路に少し水が溜まりはじめました。10分後くらいには道路のマンホールからは水が噴き出し、そのあとすぐに小川も氾濫しました。氾濫後は見る見るうちに道路の水量が増し大人の腰辺りまではありました。私達のクラブは、小川の目の前の道路から数段階段を上った高い場所にあった為床下浸水ですみました。が、この数時間、数分で一気に状況が変化し、子ども達のお迎えや自らの安全確保など、様々な判断を短い時間で必要とされました。幸いにも、子ども達はまだ帰って来ておらず、常勤も2名態勢だった為、すぐに学校側と連絡をとり待機させてもらえるか確認しました。その後、保護者の方々にも一斉に連絡をし、学校に直接お迎えに行ける方は行ってもらうようにしました。今回はこのように学校側、保護者の皆様の理解とご協力があったからこそ、当クラブでは大きな被害もなく済みました。しかし、子ども達が既に登所していて、保護者の方も身動き取れないという状況はあり得ることで、そんな中、正しく判断しなくてはいけないと思うと、日頃から対策や訓練は本当に必要だと強く感じました。

また、講義中にもありましたが、お迎えに来てもらうことや、避難する事、避難場所に逃げる事が全て正しいわけではなく、その最中に事故や二次災害に巻き込まれることもあり、『避難』と言っても判断が難しいのだと感じました。

天災には逆らえない為、いつどの様にして起こるか分からない災害に備えてできる事をできる最大の範囲で準備しておき、起こってしまったときに最前の判断をできるようにする必要があったと感じた研修でした。

※提出されたレポートは、当会のホームページや広報誌に掲載する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※×切は、研修終了後、2週間以内です。常勤・専任指導員に手渡し、または、okazakigakudou@wyahoo.co.jp までお送りください。